

新春特集

誰もが声を出し合って、安心してくらせる毎日のために

あけましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

新年を迎えるにあたり、大坪光樹理事長に、本年の抱負やコープぎふのこれからの取り組みについてなど、組合員さんから寄せられた質問を交えインタビューをしました。



おおつほ みつき
コープぎふ 大坪 光樹理事長

入協歴：30年

座右の銘：「むずかしいことをやさしく、
やさしいことをふかく、
ふかいことをおもしろく」

作家 井上ひさしさんより

2016年を振り返っていかがでしたか？

6月の総代会で理事長に就任してから、とにかく初めてのことがばかりで、それに対応するのに精一杯でした。あつという間に半年が過ぎました。

今年はどういう年になりましたか？

コープぎふの中期方針「みんなだめざしいコープぎふの姿」にもあるように、組合員さんがオーナーであることを実感していただけるような、誰もが声を出しやすく、それに応えていける生協にしていきたいです。また、「コープぎふは組合員さんがくらしに必要なものを買う組織です」ともしています。生協は生活者がくらしのさまざまな願いをみんな協力し合って実現する組織です。一般のスーパーなどは少し立ち位置が違います。そこで、店舗では普通「売り場」と呼ぶのを「買い場」とし、共同購入では「荷おろし場」「買い場」とし、共同購入では「荷おろし場」ではなく「荷受け場」と、まずは言葉の整理からはじめました。「売る」と「買う」では働く役職員の考え方や行動も180度変わってきます。

業の充実も課題ですね。

また共同購入では、週に1度決まった曜日、時間と同じ担当者がお伺いするため、「いつもと違う」ことに気づけます。この強みを活かして、行政と連携して「コープ見守りねつ」と取り組んでいます。今後も、地域の見守りの役割を果たしていきたいと思っています。「コープ見守りねつ」とは…共同購入事業の配送エリアとしている岐阜県全域を対象に、地域の高齢者、子どもなどの異変に気づいたとき、コープぎふから自治体等指定の窓口につながる。

大坪理事長のプライベート

コープぎふで働くことになったきっかけは？ (大垣市 安部さん)
大学生時代の同級生の結婚式に出席した際、友人の上司から岐阜地区市民生協を紹介されました。入協して、今年で30年になります。

学生時代の夢は何でしたか？ (多治見市 M.M.さん)

小学生のころの夢は、考古学者でした。

2017年は、これらの取り組みを具体的な行動に移していくスタートの年です。店舗では、これまで商品の仕入れなどを東海3生協でつくる事業連合の元で合同してやってきました。ですが、組合員さんからの要望に即座に応えられるように、コープぎふで商品を調達する力を徐々に身につけるなど、運営の改革や強化に取り組んでいきたいと考えています。

理事長になって一番取り組みたいことは何ですか？ (岐阜市ニヤーさん)

組合員さんが「コープぎふに加入してよかった」と実感できるような生協にしたいです。また、中期方針で「職員は目の前の組合員に最善を尽くします」としていますが、職員自身もまた「コープぎふで働けてよかった」と実感してこそ、最善を尽くすことができると思います。そのため、組合員さんがより利用しやすい事業を創っていくとともに、職員の働く環境の整備にも力を入れていきたいです。

好きな本を教えてください。 (可児市 musicianさん)

司馬遼太郎さんの「街道をゆく」この国のかたち」です。

身体に良いこと、何かされてみえますか？ (御嵩町 温布ママさん)

睡眠をしっかり取ること。好き嫌いせず美味しう飯を食べることも。

思い出に残っている場所はどこですか？ (関市のぶなばなさん)

上高地ですね。学生時代、1人旅で高山駅からヒッチハイクをしながら上高地に行きました。宿泊先で初めて会った京都大学の先生や学生さん達と、一緒にお酒を飲み交わした思い出があります。その後、松本市まで抜け、地元で有名なアップルパイも食べました。高山駅などで野宿もしました。

旅をするならどこへ行きたいですか？ (中津川市 シフォンさん)

長崎県の舌岐島に行きたいです。日本の文化はあちらから入ってきたので、そういうものを見ることがしたい。

社会貢献についてどのように考えますか？ (山県市 ステンドママさん)

これからは地域での支えあいや絆づくりが、ますます重要になってきます。組合員さんの有償ボランティア組織「くらしすけあいの会」おたがいさま」などへの応援を通じて、地域でお役立ちをしていきたいと思っています。また、環境、食育、ユニセフ、平和などについても、組合員さんの主体的な参加を尊重しながら応援していきたいです。

また、間もなく東日本大震災から7年目を迎えますが、毎月みやぎ生協が仮設住宅などで開催するふれあい喫茶に岐阜のお菓子をお届けする活動や、「くらし・地域復興応援募金」、他団体と連携した被災地の応援をこれからも続けていきます。

生協の取り組みで、ずっと続けて大切に育ていきたいことは、 (可児市のんママさん)

コープぎふでは、人と人とのつながりや関わりをずっと大切にしています。「くらしのおしゃべり会」や「おしゃべりパーティー」など、

お休みの日は何をしていますか？ (岐阜市 はるんさん)

まち歩きと、読書をしています。岐阜市のメディア「スモア」にはよく行きますよ。特に、路地や石畳などまちの佇まいが好きです。神社、仏閣巡りもよくします。

また「掃除に学ぶ会」といって、月に1度、朝7時からコープぎふの事業所のトイレを掃除しています。活動回数は70回を超えました。トイレは本当は一番大切な場所なのに、汚れていたりすると忌避されがちです。そこにあえて向き合うことに意味があるように思います。トイレ掃除で心磨きー組合員さんの参加も歓迎します。みなさん一緒にいかがですか(笑)？



コープぎふ男子会「陶芸体験教室」にも参加しました。

